



「冬の足音」

校長 四木 定宏

17日(火)の朝、“パタパタ”と小さな足音とともに楽しそうな声が近づいてきました。「しつれいします！」と、幼稚部の年長児がタブレットを持ってやってきて、子どもが撮ったと思わしき画像を見せて、「校長先生、手稲山に雪が降ったよ！」と教えてくれました。この日、手稲山では、平年や昨年よりも1日早い初冠雪が観測されました。10月も半ばを過ぎ、朝夕は冷え込むようになりましたが、日中は20度近くになる日もあり、さらに今冬は暖冬との長期予報もあったため、「冬の足音はいつ聞こえるのやら、、、」と少し寂しい気持ちでいただけに、子どもたちからの知らせを嬉しく思いました。



一般的に「足音」は聞こえますが、「冬の足音」は実際に聞こえるものではなく(落ち葉が舞う音など聞こえるものもありますが)、近づく冬を比喩的に表す言葉として用いられます。中学生に、「冬の足音」という言葉から何をイメージするか尋ねてみたところ、「雪」や「雪虫」という答えでした。「校長先生、冬の足音は聞こえませんか！」という答えも期待していたのですが、良い意味で期待外れでした。先生方にも聞いたところ、「初霜」「初氷」「初雪」という答えで、“初めての”ということを強調したものでした。因みに、今話題の生成AI(Microsoft Bing AI)で「冬の足音」を検索してみたところ、『「冬の足音」という花言葉は、冬の始まりのころ白い雪のような花を咲かせることにちなむともいわれます。また、この言葉は、音楽や効果音のタイトルにも使われ、、、冬の季節感を表現した素敵な作品です。』

という回答でした。生成AIも比喩的表現は学習不足なのでしょう。

さて、本校では21日(土)に学習発表会を行いました。全校一斉に、制限無しで開催できたのは、コロナ禍になって以来のことです。当日は、多くの保護者や地域、関係機関の方に来場していただき、子どもたちが頑張っている様子を観ていただけたことと思います。発表を終えて会場を後にする子どもたちは、一様に笑顔でしたので、これまでの学習や練習の成果を存分に発揮して演技や発表ができ、満足できたようです。来場して声援を送っていただいた皆様、ご家庭で子どもたちを支えていただいた保護者の皆様に感謝します。

今年の学習発表会のスローガンは、小学部の児童が考えた「仲間と助け合い 心を込めて 感動を伝えよう！」でした。子どもたちはこれまでも、仲間と協力して普段の学習や様々な行事に取り組んできていますが、全学部が同じ日、同じ場所、同じテーマの下に取り組むといった点で、学習発表会は運動会と並んで別格です。子ども同士が互いの発表を見合い、リスペクトし、アドバイスしたり刺激をもらったりすることで、相乗効果として大きな学習成果が得られます。

社会では、個別のニーズが重んじられ、ニーズに対応するためにサービスの細分化も進んでいます。さらに、コロナ禍がそれに拍車を掛けたように思います。教育も同じ方向に向かっていくように感じます。時代や社会の変化とともに学校の役割も変わっていくのかもしれませんが、子どもたちの「仲間とともに」という思いに答えられるよう、学校は子どもが学び合える場を大切にしなければならないと確信しました。学習発表会の終わりの挨拶で、生徒会長が、「学習発表会期間を通して、より、みんなの絆が強くなったと感じています。学習発表会で培った団結力を生かして、さらに札幌聾学校を盛り上げていきたいと思います。」と話しました。生徒会長が柔らかく分かりやすい言葉で、私の思いを代弁してくれたことに感謝したいと思います。



11月予定表



- 1日(水) 芸術鑑賞
- 2日(木) 校外学習(中C組)
- 3日(金) 文化の日
- 5日(日) 英検2次
- 6日(月) 教育実習(～24日)
朝会・生徒総会(中)
- 7日(火) 二計測(幼)
後期中間テスト(中)
- 8日(水) 学力テスト総合C(中3希望者)
- 9日(木) PTA手話サークル
- 10日(金) 校外学習(小4年1・2組)
- 13日(月) 朝会(小)

- 15日(水) 誕生会(幼)
進路講話(中)
- 16日(木) キタラファーストコンサート(小6)
- 17日(金) ハローミュージアム(小5)
- 20日(月) ALT来校(中)
- 22日(水) お店屋さんごっこ(幼)
校内体験(中12C)
高聳見学(中2)
給食試食会①
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(金) 給食試食会②

小学部・児童会の活動紹介

10月27日(金)に児童総会を行い、「前期の反省」「後期の目標」「活動計画」などについて、説明・協議が行われました。

コロナ禍では、児童会の活動は児童会役員のみで進めてきましたが、今年度より役員が中心となりつつ、4年生以上全員で進めており、例年以上に活発な活動を行っています。児童総会の準備も、時間がない中にも関わらず、一人ひとりが役割意識をしっかりと持ち、スムーズに進めていました。

また、10月10日(火)には後期役員任命式があり、選挙を経て当選した新たな役員での活動がスタートしました。児童会の役員は変わりましたが、前期と同様に4年生以上全員で協力し、よりよい小学部をつくっていきけるよう活動して欲しいと思います。

(樋口)

中学部・生徒会の活動紹介

10月2日(月)に、後期生徒会役員の認証式を行いました。16日(月)に専門委員会も開かれ、生徒会・生活委員会・図書委員会の活動が本格的にスタートしました。

後期は、12月に「スポーツ大会」、1月「生徒会企画」、2月「生徒総会」、3月には「卒業生を送る会」など、生徒会が主導となって行う行事が盛りだくさんです。今年度の生徒会役員は3名と、例年より少ない人数ですが、各行事に力を入れて取り組みたいという目標を立て、互いに協力して活動しています。

後期も生徒会活動を通して、自分たちで企画・実行する楽しさを感じ、責任感をもってよりよい中学部をつくっていきけるよう、積極的に活動して欲しいと思います。

(貝沼)

バドミントン部中体連新人戦(中学部)

9月30日(土)、10月1日(日)に、中体連新人戦北区南部地区予選が北陽中学校体育館で開催され、本校からは2年生2名が、男女シングルスにそれぞれ出場しました。

この大会に向けて、基礎練習の徹底に加えて、サーブ練習や実践を想定したパターン練習、教職員を相手にした試合形式の練習などを行ってきました。大会当日は2名とも緊張している様子が見られましたが、全力で試合に挑み、練習してきたことを発揮することができました。結果は残念ながら初戦敗退でしたが、前回よりも多くの得点を奪ったり、先にマッチポイントを取るところまで行ったり、非常に惜しい内容で、生徒たちの成長が感じられました。他校の生徒から学ぶことも多くあり、次につながる貴重な経験となりました。

今後は来年度の中体連に向けて、体力づくりや基礎技術の習得に取り組みたいと考えています。今後も応援よろしくをお願いします。(三林)